

エジプト

Arab Republic of Egypt

		2007/08 年度	2008/09 年度	2009/10 年度
①人口:7,605 万人(2009 年 1 月)*	④実質 GDP 成長率(%)	7.2	4.7	5.1
②面積:100 万 1,450k m ²	⑤貿易収支(米ドル)**	△234 億 1,540 万	△251 億 7,330 万	△185 億 3,700 万
③1 人当たり GDP:2,450.39 米ドル (2009 年)*	⑥経常収支(米ドル)**	8 億 8,830 万	△44 億 2,430 万	△26 億 620 万
	⑦外貨準備高(米ドル, 年度末)	345 億 7,200 万	313 億 1,000 万	346 億 5,400 万
	⑧対外債務残高(米ドル, 年度末)**	338 億 9,280 万	315 億 3,110 万	332 億 8,730 万
	⑨為替レート(1 米ドルにつき, エジプト・ポンド, 期中平均)	5.513	5.453	5.453

[注] 年度は 7 月～翌 6 月。*推定値。**暫定値。④～⑥:09/10 年度は第 3 四半期分(09 年 7 月～10 年 3 月。うち④は前年同期比)。⑦:09/10 年度は 2010 年 4 月末時点。⑧:09/10 年度は 2009 年 12 月末時点。**⑤⑥⑧は 2008/09 年度, 2009/10 年度が暫定値。⑨:09/10 年度は上半期分(09 年 7～12 月)。
[出所] ①:エジプト中央動員統計局, ②:エジプト国家情報サービス庁, ③:IMF, ④⑤⑥⑦⑧⑨:エジプト中央銀行

■ 内需主導で好調な経済

2008/09 年度(7 月～翌 6 月)のエジプトの実質 GDP 成長率は、前年度実績の 7.2%から 4.7%へと低下した。民間最終消費支出(4.5%)、政府最終消費支出(8.4%)と堅調であったものの、世界金融危機の影響を受けて、輸出が大幅に減少(12.8%減)するとともに、設備投資(10.2%減)が減少したため、輸入も 17.7%の減少となった。2009/10 年度第 1～3 四半期(7～3 月)の実質 GDP 成長率は前年同期比 5.1%と回復傾向にある。最終消費支出は民間(3.8%)、政府(4.4%)と減速したものの、設備投資は 1.2%のプラス成長に転じ、国内最終需要は 3.4%と堅調に推移した。輸出、輸入は、それぞれ 3.9%減、7.7%減と依然としてマイナスの伸びとなったものの、改善傾向にある。2009/10 年度第 1～3 四半期の実質 GDP を産業別にみると、製造業(前年同月比 5.0%)、卸・

小売業(6.2%)、飲食ホテル業(12.0%)、建設(13.7%)、通信(12.6%)と高い伸びを見せたものの、石油・天然ガスを中心とする鉱業は 1.9%と低迷、またスエズ運河は 6.8%減と依然としてマイナスを記録している。

経常収支では 2008/09 年度に、輸出、スエズ運河通行料収入および出稼ぎ労働者による海外送金の減少により 44 億 2,430 万ドルの赤字に転じた。2009/10 年度第 1～3 四半期も 26 億 620 万ドルの赤字となっているものの、赤字幅は減少傾向にある。貿易収支(国際収支ベース)を見ると、輸出は石油輸出の減少により前年同期比 11.9%減となったものの、輸入も 8.4%減となり、貿易赤字額は 4.9%縮小している。2009 年の国際収支ベースの輸入では、石油製品などの燃料等(29.5%減)、中間財(26.9%減)、資本財(18.4%減)となる一方で、消費財は、15.4%増となった。

表 1 エジプトの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100 万 LE, %)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2008 年		2009 年			2008 年		2009 年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
鉱物性生産品	66,409	41,149	32.0	△ 38.0	一般機械類, 電気機器	51,408	48,661	19.5	△ 5.3
鉱物性燃料	63,271	38,550	30.0	△ 39.1	一般機械類	33,687	32,396	13.0	△ 3.8
植物性生産品	10,257	15,727	12.2	53.3	電気機器	17,720	16,265	6.5	△ 8.2
果実	3,861	5,942	4.6	53.9	卑金属, 同製品	53,614	40,833	16.3	△ 23.8
野菜	3,626	4,370	3.4	20.5	鉄鋼	26,965	19,824	7.9	△ 26.5
穀物	1,052	2,273	1.8	116.1	鉄鋼製品	14,869	14,636	5.9	△ 1.6
化学品	13,746	14,170	11.0	3.1	鉱物性生産品	36,695	29,066	11.6	△ 20.8
肥料	3,698	6,037	4.7	63.2	鉱物性燃料	31,431	24,844	9.9	△ 21.0
紡績用繊維, 同製品	10,155	12,290	9.6	21.0	植物性生産品	25,304	23,542	9.4	△ 7.0
衣類, 衣類付属品	4,287	6,245	4.9	45.7	穀物	16,922	13,540	5.4	△ 20.0
卑金属, 同製品	16,366	11,769	9.2	△ 28.1	化学品	23,413	21,075	8.4	△ 10.0
真珠, 貴石, 半貴石, 貴金属, 貴金属細工, 身辺用細貨	147	6,143	4.8	4,091.1	輸送機器	16,984	18,014	7.2	6.1
金(加工していないもの)	70	5,162	4.0	7,279.9	紡績用繊維, 同製品	13,356	13,611	5.4	1.9
一般機械類, 電気機器	5,829	4,792	3.7	△ 17.8	プラスチック, ゴム, 同製品	16,141	13,410	5.4	△ 16.9
プラスチック, ゴム, 同製品	5,222	4,458	3.5	△ 14.6	動物, 動物性生産品	7,822	8,228	3.3	5.2
合計	143,027	128,490	100.0	△ 10.2	合計	287,759	249,965	100.0	△ 13.1

[出所] 表 2 と同, エジプト中央動員統計局。

表2 エジプトの主要国別輸出入<通関ベース>

(単位;100万LE)

	2008年	2009年		
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(FOB)	143,027	128,490	100.0	△ 10.2
スペイン	8,115	8,707	6.8	7.3
イタリア	14,768	8,665	6.7	△ 41.3
米国	6,977	7,943	6.2	13.8
インド	9,046	7,897	6.1	△ 12.7
サウジアラビア	6,824	7,397	5.8	8.4
中国	1,867	5,498	4.3	194.4
リビア	4,401	5,475	4.3	24.4
ヨルダン	3,921	5,197	4.0	32.5
スイス	179	5,023	3.9	2,713.5
英国	5,067	4,790	3.7	△ 5.5
日本	4,768	575	0.4	△ 87.9
輸入総額(CIF)	287,759	249,965	100.0	△ 13.1
米国	30,931	26,387	10.6	△ 14.7
中国	24,164	21,757	8.7	△ 10.0
ドイツ	17,785	20,039	8.0	12.7
イタリア	16,464	14,754	5.9	△ 10.4
トルコ	6,405	13,058	5.2	103.9
サウジアラビア	16,913	11,210	4.5	△ 33.7
フランス	7,282	8,889	3.6	22.1
ロシア	11,849	8,619	3.4	△ 27.3
日本	10,042	7,989	3.2	△ 20.4
ウクライナ	10,958	7,446	3.0	△ 32.0

■ 輸出入ともに減少したが、貿易収支の赤字は減少

エジプト中央動員統計局(以下、CAPMAS。通関ベース)によると、2009年の貿易は輸出が前年比10.2%減の1,284億8,994万エジプト・ポンド(以下、LE)、輸入は13.1%減の2,499億6,512万LEであった。貿易収支は前年に引き続き1,214億7,518万LEの赤字だが、赤字幅は縮小した。

輸出を品目別にみると、全体の32.0%を占める鉱物性生産品が前年比38.0%減の411億4,899万LEとなった。鉱物性燃料の輸出が、前年の価格急騰の反動を受け、39.1%減となり、輸出総額減少の主な要因となった。一方、増加した主な品目は、植物性生産品(構成比12.2%、53.3%増)、化学品(11.0%、3.1%増)、加工していない金(4.0%、約74倍)など。また穀物も、116.1%増と伸び、特に対中東諸国向けの精米が131.7%増と伸びが顕著だった。

国別でみると、前年比7.3%増となったスペインが最大の輸出相手国となった。輸出額全体の76.3%を占める天然ガスなどの鉱物性燃料が9.1%増加した。一方で、イタリア(41.3%減)は、輸出の40.9%を占める鉱物性燃料が47.8%減少、アルミニウム・同製品(35.9%減)、その他の化学製品(23.3%減)、綿・綿織物(33.1%減)などの主要品目も軒並み減少した。米国(13.8%増)向け輸出は、紡

織用繊維・同製品が50.3%を占めており、鉱物性燃料に特化した他国の貿易構造とは異なる。インド向けは輸出の81.2%を占める鉱物性燃料が22.8%減となり、輸出額は12.7%減となった。サウジアラビアは、果実(構成比13.6%)が43.5%増、野菜(10.1%)が66.1%増、酪農品等(9.0%)が46.7%増などとなった。

中国向け輸出は194.4%増と大幅に増加した。52.1%を占める鉱物性燃料が4倍強に増加したことによる。

輸入を品目別にみると、19.5%を占める一般機械類・電気機器は前年比5.3%減の486億6,054万LEとなった。次いで16.3%を占める卑金属・同製品は23.8%減、11.6%を占める鉱物性生産品は20.8%減、9.4%を占める植物性生産品は7.0%減、8.4%を占める化学品は10.0%減となり、約6割を占める上位主要品目で軒並み減少した。

一方、輸入増をもたらした品目では、鉄道及び船舶が増加した輸送機器(構成比7.2%)の6.1%増、衣類・衣類付属品が増加した紡績用繊維・同製品(同5.4%)の1.9%増、魚介類および生きた動物が増加した動物・動物性生産品(同3.3%)の5.2%増などであったが、輸入総額減少の歯止めにはいたっていない。

輸入を国別にみると、米国からの輸入額は前年比14.7%減であったが、前年に引続き首位を維持した。品目別でみると、一般機械類(構成比12.2%)、とうもろこし、デュラム小麦を含む穀物(12.0%)、主に大豆となるその他の植物性生産品(10.8%)が主要輸入品目。米国に次いで、中国は10.0%減であったが、前年同様2位を維持した。品目は一般機械類(17.0%)、電気機器(14.5%)、衣類・衣類付属品(7.4%)など。3位も、前年同様、12.7%増のドイツ。品目は一般機械類(構成比25.4%)、車両(構成比18.8%)、電気機器(9.6%)など。4位は、前年5位のイタリアが10.4%減ながらも、サウジアラビアを抜き浮上、一般機械類が輸入額全体の40.7%を占め最大となり、その他鉄鋼製品(構成比13.6%)、電気機器(8.3%)が主な品目。5位は、前年13位のトルコが103.9%増と躍進した。鉄鋼が約6倍弱増と伸長し、輸入額全体の51.8%を占め最大となった。次いで、一般機械類(構成比6.8%)、鉱物原料(4.3%)が主な品目であった。2007年3月の自由貿易協定発効以降、両国の経済関係は深化している。

■ 減少した対内直接投資

エジプト中央銀行によると、2009年の対内直接投資額(国際収支ベース、ネット、フロー)は、67億1,160万ドルと、前年比29.3%減となった。流入額が前年に比べ18.6%減少、流出額が2.3%増加し、49億6,470万ドルになった。

2009年の流入総額は116億7,630万ドルで、国別では、英国が前年比53.5%増で37億8,080万ドルと全体の32.4%を占め、米国(構成比19.3%)、ベルギー(10.9%)、アラブ首長国連邦(UAE)(8.2%)などが続く。アジアでは、中国が全体の0.5%で5,350万ドルといまだ小規模であるが、122.0%増、次いで、インドは266.9%増で4,880万ドルとなっている。

中央銀行のアラビア語サイトで2009年下半期(2009年7月～12月)の産業分野別投資額の構成比をみると、石油関連が82.5%を占めた。次いで、金融(構成比2.9%)、サービス(2.2%)、観光(2.0%)、製造(1.9%)、不動産(1.4%)、建設(1.3%)、通信・IT(1.2%)、農業(0.1%)、その他(4.5%)となった。製造は、2008年同期では、9.5%を占め、石油関連に次ぐ2番目に大きい構成比を維持していたが、前年同期比で83.8%減と後退した。

エジプト投資省は、2009年の対内直接投資額の減少を踏まえ、さらに投資額を拡大するため、推奨するインフラ・プロジェクト案件を公表し、内外投資家に対して投資を呼びかけている。このインフラ・プロジェクト案件は11分野46のプロジェクト、推定投資総額161億ドルとなっている。

また、エジプト電力エネルギー省傘下の新・再生可能エネルギー庁(以下、NREA)は、2020年までに国内電力の20%を再生可能なエネルギーに転換する戦略を掲げ、そのうち7,200メガワット(以下、MW)に相当する12%を風力発電で賄う方針だ。同様に、風力発電以外の8%、4,800MWに相当する再生可能なエネルギーには、水力および太陽エネルギーなどが検討されており、太陽熱、光起電力システム、コンバインドサイクルなどを活用したプロジェクトも今後本格化することが見込まれる。NREAは、こうした分野の民間投資を促進するため、20年～25年の長期売電契約、政府保証の提供、プロジェクトサイトに関する認可取得、設備に関する関税免除などの優遇措置を講じている。

■ 輸入の大幅減により拡大した日本の黒字

日本側の通関統計によると、2009年の日本の対エジプト貿易は、輸出が13億6,002万ドル(前年比26.9%減)、輸入が2億9,855万ドル(81.1%減)であり、輸出入ともに前年を大きく下回った。日本側が出超である構造に変化はないが、輸入全体の55.2%を占める液化天然ガスが88.1%減と著しく減少したことにより、日本側の黒字額は、10億6,148万ドルに達し、約3.8倍に拡大した。

主な輸出品をみると、工業製品が輸出総額全体の96.6%を占め前年比27.3%減の13億1,373万ドルとなり、例年どおりその大宗に変化はない。工業製品の内訳は、機械機器(構成比75.1%)、金属品(11.3%)など。機械

表3 エジプトの国・地域別対内直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位:100万ドル、%)

	2008年		2009年	
	金額	金額	構成比	伸び率
米国	4,714.7	2,258.1	19.3	△ 52.1
スイス	235.4	98.2	0.8	△ 58.3
トルコ	37.1	56.2	0.5	51.5
カナダ	135.7	2.7	0.0	△ 98.0
EU				
英国	2,463.7	3,780.8	32.4	53.5
ベルギー	1,104.6	1,274.7	10.9	15.4
フランス	1,130.9	244.4	2.1	△ 78.4
ギリシャ	125.2	119.0	1.0	△ 5.0
オランダ	143.9	102.2	0.9	△ 29.0
ドイツ	90.0	85.0	0.7	△ 5.6
イタリア	37.3	82.4	0.7	120.9
スペイン	22.3	71.2	0.6	219.3
キプロス	11.5	49.8	0.4	333.0
スウェーデン	1.7	45.9	0.4	2,600.0
アラブ諸国				
アラブ首長国連邦	762.8	952.4	8.2	24.9
サウジアラビア	504.1	261.9	2.2	△ 48.0
ヨルダン	83.6	199.7	1.7	138.9
クウェート	611.8	111.7	1.0	△ 81.7
レバノン	35.4	49.5	0.4	39.8
バーレーン	35.8	35.1	0.3	△ 2.0
カタール	217.1	29.6	0.3	△ 86.4
リビア	137.4	10.1	0.1	△ 92.6
アジア				
中国	24.1	53.5	0.5	122.0
インド	13.3	48.8	0.4	266.9
日本	38.6	27.8	0.2	△ 28.0
流入計(その他含む)	14,345.5	11,676.3	100.0	△ 18.6
流出計	4,850.9	4,964.7		2.3
ネット	9,494.6	6,711.6		△ 29.3

[注] 2008年、2009年は暫定値。

[出所] エジプト中央銀行。

機器の主力輸出品目であった各種乗用車は67.0%(ガソリンエンジン1500cc超～3000cc以下)～94.2%(ガソリンエンジン1000cc以下)減と軒並み減少した。貨物自動車では、5トン以下のガソリンエンジンの貨物自動車のみ18.9%増加したが、それ以外は56.4%(ディーゼルエンジン5トン以下)～70.7%(ディーゼルエンジン20トン超)減だった。日本にとってエジプトが重要な輸出市場となっている品目もある。冷凍サバの輸出額は、日本の輸出全体の34.8%を占め、2位の中国、3位のタイを凌ぎ1位となり、2,537万ドル、2万9,214トンであった。

主な輸入品をみると、液化天然ガスと原油の鉱物性燃料が輸入総額全体の87.3%を占め、前年比82.9%減の2億6,070万ドルとなった。次いで、繊維製品を主要品目とする工業製品(構成比6.1%)、食料品・動植物生産品(2.8%)、原料品(2.1%)と続く。工業製品は、ほとんどの品目で輸入額が減少したが、一部の品目では増加したのもあった。繊維製品は2.8%増となり、また、陶磁器製品

に含まれ、主に歩道や建物の通路・階段に用いられる舗装用タイルは、単価が増加したため 6.7%増加した。20.3%減少した食料品・動植物生産品の内訳を金額の上位順でみると、加熱処理したジャム、フルーツゼリー等、乾燥たまねぎ、などが主な品目となった。

■ 流出超過から回復した日本の対エジプト投資

エジプト投資フリーゾーン庁(GAFI)から入手した資料などによれば、2008年の日本の対エジプト投資は、新規投資が6件(3,165万ドル)、資本回収が2件(4,058万ドル)であった。資本回収による流出が新規投資の受け入れ額を上回り、結果として893万ドルの流出超過となった。資本回収は、エジプト製鉄最大手であるエッズ・グループ(4,012万ドル)、プラスチック・パイプ製造のアスロン・エジプト(46万ドル)の2案件。一方、新規投資の内容をみると、豊田通商がエジプトガス公社及び南部エジプト石油開発公社と共同で設立した Egyptian Offshore Drilling Company S.A.E.に、50%に相当する2,250万ドルを出資

し、海洋ガス田掘削請負事業を開始した。また、東京海上日動火災保険による総額906万ドルを投じての保険会社の設立があったほか農業関連の投資で総額9万ドルの投資があった。

2009年の日本の投資は、新規投資3件(ドリルの製造業で120万ドル、観光業で13万ドル、貿易業で2万4,000ドル)、増資2件(日揮が米のケロッグブラウン&ルートとスペインのテクニカス・リュニダスの合弁で2002年に設立したエンジニアリング業のDamietta LNG Constructionへの1,261万ドル、既存の建設・貿易業への2万4,000ドルの増資)の計5件で、総額1,399万ドルだった。

2010年5月末までの投資では、新規投資が2件、資金回収が1件あり、総額10万7,000ドルとなった。結果として、資金回収では、保険業で3,000ドルがあり、新規2件では、①農業・食品業で6万4,000ドル、②医療機器・薬品貿易業で4万6,000ドルの案件が認可された。またユニ・チャームは、2009年12月、紙おむつや生理用品の生産を決定。本格的な操業は2012年を予定している。

表4 日本の対エジプト主要品目別輸出入<通関ベース>

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2008年		2009年			2008年		2009年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
工業製品	1,806,453	1,313,725	96.6	△27.3	鉱物性燃料	1,521,958	260,701	87.3	△82.9
機械機器	1,577,498	1,022,056	75.1	△35.2	液化天然ガス	1,385,580	164,825	55.2	△88.1
一般機械	521,947	537,404	39.5	3.0	石油・壓青油	136,379	95,876	32.1	△29.7
					(軽質油及びその調製品、除く原油)				
蒸気タービンの部品	274	67,505	5.0	24,536.9	工業製品	27,001	18,184	6.1	△32.7
蒸気発生ボイラー・過熱水ボイラーの部品	12,379	52,671	3.9	325.5	繊維製品	9,611	9,884	3.3	2.8
フロントエンド型ショベルローダー	49,736	50,747	3.7	2.0	繊維二次製品	9,038	9,614	3.2	6.4
車輛用ディーゼルエンジン	66,970	47,450	3.5	△29.1	絨毯・紡織用繊維の床用敷物(タフトしたもの)	2,922	2,793	0.9	△4.4
輸送機械	900,260	347,187	25.5	△61.4	非金属鉱物製品	4,437	3,115	1.0	△29.8
乗用車(ガソリンエンジン、1500cc超3000cc以下)	211,494	69,803	5.1	△67.0	陶磁器製品	3,784	2,830	0.9	△25.2
10人以上用輸送自動車(ディーゼルエンジン)	171,113	62,624	4.6	△63.4	その他の陶磁製舗装用品タイル等	2,652	2,830	0.9	6.7
貨物自動車(ディーゼルエンジン、5トン超20トン以下)	115,965	50,246	3.7	△56.7	機械機器	465	2,471	0.8	431.4
電気機械	107,424	91,390	6.7	△14.9	一般機械	56	2,163	0.7	3,762.5
電動機・発動機の部品	5,453	20,752	1.5	280.6	その他のガスタービンの部品	0	2,106	0.7	全増
精密機器	47,867	46,075	3.4	△3.7	金属品	9,328	1,317	0.4	△85.9
金属品	77,482	154,351	11.3	99.2	食料品、動植物生産品	10,527	8,394	2.8	△20.3
鉄鋼	56,480	136,876	10.1	142.3	加工食品類	6,460	5,441	1.8	△15.8
縦方向サブマージアーク溶接輸送用管(外径406.4mm超)	0	82,758	6.1	全増	かんきつ類以外のジャム、フルーツゼリー等(加熱処理したもの)	2,609	2,010	0.7	△23.0
化学品	75,296	65,589	4.8	△12.9	野菜、果実類	4,003	2,942	1.0	△26.5
プラスチック	44,829	41,861	3.1	△6.6	乾燥たまねぎ	2,327	1,568	0.5	△32.6
その他アクリル重合体	17,850	20,014	1.5	12.1	原料品	14,440	6,322	2.1	△56.2
その他の原料別製品	51,438	50,934	3.7	△1.0	金属原料	7,205	2,783	0.9	△61.4
ゴム製品	46,407	48,234	3.5	3.9	その他のスラグ・灰(含む海草の灰)	3,539	2,140	0.7	△39.5
ゴム製貨物自動車用新品空気タイヤ	27,505	35,693	2.6	29.8	繊維原料	4,130	1,782	0.6	△56.9
食料品、動植物生産品	20,549	27,097	2.0	31.9	実綿・繰綿(除くカード又はコムしたもの)	4,130	1,782	0.6	△56.9
魚介類	20,471	27,028	2.0	32.0	その他の植物性原料	2,695	1,246	0.4	△53.8
さば(冷凍のもの)	19,743	25,368	1.9	28.5	再輸入品、航空機用品	2,321	4,947	1.7	113.1
合計	1,859,285	1,360,024	100.0	△26.9	合計	1,576,247	298,548	100.0	△81.1

[出所] 財務省「貿易統計(通関ベース)」から作成。